

## 景況実感調査(2015年7月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 6月と同日数(22日稼働)ながら、売上、数量とも10%近く減少となり、4月以降の低調な流れが引き続き継続中。需給を見ても在庫が減ってゆく傾向が緩やかで、輸入玉の影響もあり市況はじり安となっている。7～9月の第二クォーターの業績予想も早や失望気味か。市中の在庫減らしの動きが増す中で、実需が出て来れば回復のスピードは意外と速い気もするが、足下の動きが悪すぎる。
- ② 店売りの動きが悪すぎる。ユーザーはやや好転。
- ③ 市況価格が崩れており、今後も底が見えない状況。外国材の影響がかなり大きい。
- ④ メーカーは減産しているが、荷動きが鈍く在庫量がなかなか減少しない。先行きも不透明で、価格も弱い現状である。
- ⑤ 定尺販売は変わらず低調。相場は下げ方向。店売りの縮小はどこまで進むのであろうか。
- ⑥ 秋口の好転を期待。

### 中板

- ① 7月スタートは好調も、後半は失速。8月を前に動きが止まってしまった。盆休み明けもあまり期待できない。市況も弱含み。

### 厚板

- ① 市況感は弱含み。建築、土木とも秋需に期待。

### 一般開金鋼

- ① 4、5月と後退した荷動きが6月に力強く回復したものの、7月は4、5月の水準まで落ち込まないまでも、後退した。納入先工場各社はフル生産体制につき、6月に材料を購入したら、7月は生産一筋だからだろう。8月は休みがあるので、9月以降の荷動きには期待できる。
- ② 職人不足が如実で、現場が上手に稼働せず。オリンピック関係も、話はあるが具体的な工程が見えない。

### HI開金鋼

- ① 6月と同様に、出荷量は増えたものの、まだまだ低調なレベル。一部サイズでは歯抜けも見られるが、対応可能な範囲である。
- ② 加工はそこそこ需要があるようだが、定尺販売の回復は見られない。メーカー対応のきめ細かさが影響していると思われる。

## 異形棒鋼

- ① 6月、7月は稼働日数が多かったが、需要端境期で荷動きは前年同期より低調であった。メーカーは強気姿勢のため市況は横這いだが、新規物件が少なく売上不振。流通採算はかなり苦しい状況にある。
- ② 前年に比しても、今年を見ても6月は良かった。7月は少し落ちるが、まあまあ底堅い。

## 平鋼

- ① 荷動きは、相変わらず横這い。盆前の駆け込み需要も無く、在庫用の引合いも無い。秋ごろの建築需要に期待が大きい。足下、見積りも少なく、先行き不透明。価格は底値が見え、横這いで推移しているが、荷動きの悪さから局地的に安値も散見される。

## 軽量形鋼

- ① 徐々に受注量は増えて来ている。9月ごろから大型物件の納入開始のため、出荷増を見込む。

## 鋼管

- ① 7月に入り、荷動きはやや好転の兆しあり。
- ② 過去10年間の7月として一番悪い状況。7月は稼働日数がある分、6月よりは良いが日当たり重量は変化なし。とくにまとまった物件が無く、荷動きも悪い。8月は低迷するので、9月以降に期待したいが、先行き不透明。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は全体的には回復傾向となっているが、一部のメーカーは在庫調整が続いている。建設機械関連は、中国の低迷もあり、とくに中大型機種が減少が続いており先々も不透明である。また、堅調だった工作機械向けも先行きに不透明感が出ている。店売りの荷動きは全体的に盛り上がらない状況が続いている。市況については、弱含み横這いで推移している。
- ② 状況は変わらず悪い状態。市況も弱含みで横這い推移が続いている。

## その他

### <曲げ加工>

- ① 7月に入って少しは良くなることを期待したが、残念ながら期待外れだった。昨年同期及び先月よりも10%以上の下落で、鉄鋼全般の動きが鈍く、曲げ加工量にも影響している。稼働率が悪く、車の出入りもいま一つであった。

### <スクラップ>

- ① 荷動きは低迷している。国内外ともに需要が回復しないことには、まだまだ厳しい状況は続くだろう。

### <金属表面処理加工>

- ① 7月1日から新ラインにて稼働開始。紐付き、物件物とも計画通り。スポットもまとまった量での発注があり予定通りの操業であった。8月は物件物を中心に受注案件が多いことから高操業を予想。連日の猛暑により現場環境もたいへん厳しく、作業効率を犠牲にしてでも、熱中症に注意して安全第一での作業徹底を指示した。